

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

「森林整備事業におけるコスト低減の取組み」

伐採期を迎えた人工林資源を有効に循環利用し、地域における森林・林業の活性化を図る観点から、伐採後における森林整備事業のコスト低減を図ることが重要な課題となっており、近畿中国森林管理局管内の国有林において「一貫作業システム」、「植栽本数の削減」、「コンテナ苗の利用」、「列状間伐」を引き続き行うとともに今年度は以下の取組みを行っています。

○下刈の省略

植栽後おおむね5年を目安に実施してきたこれまでの画一的な下刈から、現地の雑草の繁茂や植栽木の生長度合により、植栽木の生育に問題が無ければ全面積または部分的に下刈を省略するほか、全刈から筋刈へ刈払方法を変更することにより保育作業の低コスト化に向けた取組みを行っています。

平成28年8月には下刈省略に向けた現地検討会を開催し、下刈省略基準の意識統一を図りました。

平成29年度においては、下刈の省略を行った箇所の検証を行いつつ下刈の低コスト化にさらに取り組みます。



下刈省略に向けた現地検討会の開催
(H28.8月、三光山国有林(岡山県新見市))

○シカ防護柵

シカによる植栽木の被害は管内のほぼ全域で

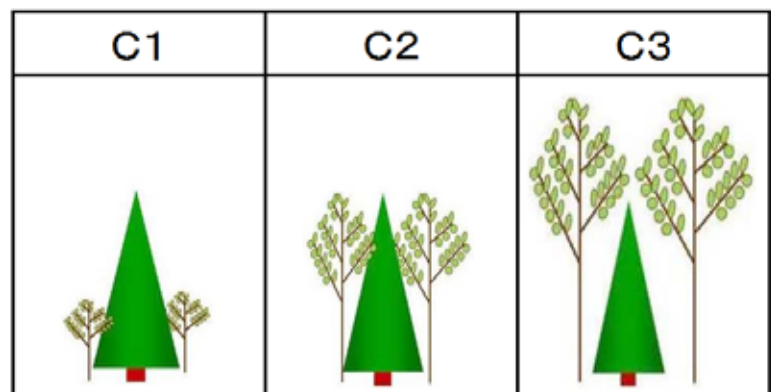
発生し、年々増加傾向にあります。その対策として、植栽区域の周囲に網を設置する防護柵を実施しています。

造林・保育に要するコストのうち、防護柵設置の占める割合は高く、いかにコストを抑えるかが課題となっています。

近畿中国森林管理局では、防護柵の支柱の一部に現地の立木を利用することで、資材コストの縮減を図るとともに壊れにくくなる効果も見込めるなど、効果的な防護対策に取り組みます。



支柱の一部に立木を利用
(広島北部森林管理署管内)



下刈省略基準図

C1：樹木の梢端＞雑草木【下刈省略】

C2：樹木の梢端＝雑草木【下刈省略を検討】

C3：樹木＜雑草木【下刈実施】

柵より高い位置にテープを張ることで、シカの跳び越え防止に効果あり。



ニュース

山の日記念イベント開催

【森林技術・支援センター】 8月5日（土）、岡山県新見市の商業施設サンパーク新見店において、山の日を記念し木とふれあうイベント「8・11『山の日』記念イベント in サンパーク」を開催しました。（主催：新見市小規模林家支援推進協議会、企画構成：森林技術・支援センター、協力：岡山県・新見市担当課）

当日は、丸太切り体験や新見市産の材料で木工クラフト、ヒノキのボールプール、岡山県産ヒノキを使用した積み木の4つのコーナーを設け、子供から大人まで多くの方に木とふれあっていただきました。



丸太切り体験では、子供たちがスギの輪切りの重さ200gを目指して、慣れない手つきで一生涯懸命のこぎりを引き、見事2名がピタリ賞、ホオノキのまな板をプレゼントしました。

木工クラフトでは、子供たちの自由な発想で多くの力作が生まれ、また大人も童心へ返り作品作りに没頭していました。

ヒノキで作ったボールを敷き詰めたプールでは、子供たちが香りを楽しみながら泳ぎ、岡山県産ヒノキを使用した積み木で遊ぶコーナーでは、親子でジェンガをして楽しんでいました。



また、会場では、山の働きや新見市の山及び森林技術・支援センターを紹介するポスターも掲示し、山を身近に感じてもらった楽しい1日となりました。

「連携と協力に関する協定の締結」

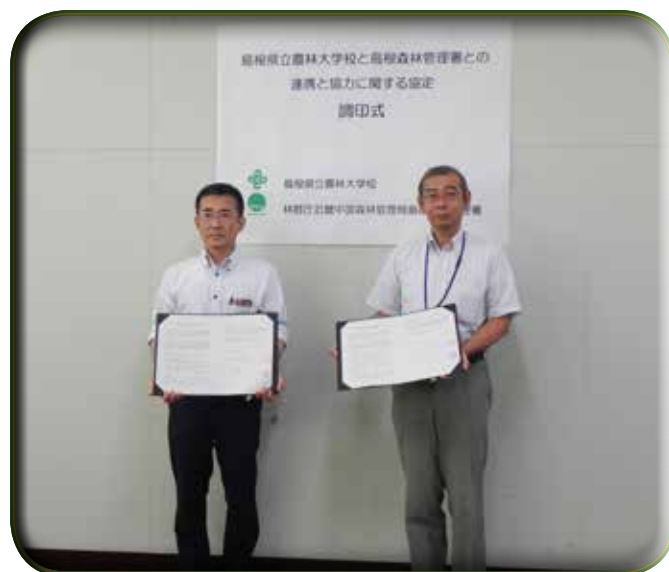
【島根森林管理署】 島根森林管理署では、これまでの連携協力を一層進めていくため、7月20日（木）に島根県立農林大学校と人材、資源、フィールドや研究データ等の活用を図りながら、生物多様性保全をはじめとする森林の有する多面的機能の持続的発揮、森林の有効利用、森林・林業の再生及び地域振興に貢献するための調査研究並びに人材の育成等の促進を図ることを目的として、「島根県立農林大学校と島根森林管理署との連携と協力に関する協定」を締結しました。

当日は島根県立農林大学校の桑本幸夫校長が島根森林管理署を訪れ、大賀雅司署長とともに協定書に調印し協定を締結しました。

その中で桑本校長は「以前から島根県と島根森林管理署は民国連携に取り組んできたが、今回の協定締結はその中の大きな取組のひとつである。大学校として現在の最重要課題は、担い手の育成であり、本校の学生は将来的には森林・林業の中心となる。そのためにもフィールドの提供は大切で、今後最新の高性能林業機械の導入により、木材生産の技術の向上のために大変重要な取組である」と語りました。

また、大賀署長は、「国有林のフィールドを有効活用していただくことは大変重要なことであり、当署の若手職員が勉強させていただくことも考えています。」と今後の協力体制の強化に期待が高まります。

今後、具体的な研修場所や研修内容等については、双方協議のうえ早急に準備を進め、有効な研修が行えるよう取り組む予定です。



大山治山事業 100 周年記念行事

【計画保全部 治山課】

＜大山治山事業 100 周年＞

中国地方最高峰で伯耆富士の名前で知られる大山（標高 1,729m）は、優れた自然景観と歴史的施設に恵まれ、年間 120 万人もの登山客や観光客が訪れる名山である一方で、火山性の脆い地質と高山性の気象条件のため凍結・融解を繰り返し、絶えず土砂が生産され、古くから災害が繰り返されてきました。

大正 6 年（1917 年）、近畿中国森林管理局の前身である旧大阪大林区署が国の直轄事業として石積えん堤などの治山対策を開始してから、今年で 100 周年を迎えます。

これまでの治山事業の実施に御協力をいただいた自治体や関係機関および関係者の方々並びに、御理解をいただいた地域の住民の方々への深い感謝の気持ちを込め、以下の記念行事を開催しました。

○オープニングイベント

8 月 7 日（月）に大山町において、大山治山事業 100

周年記念行事のオープニングイベントとして、大山の自然と治山に関する記念セミナーを実施。鳥取大学の藤村名誉教授から大山

の土砂流出現象について、大山町教育委員会 鷲見教育長からは大山の自然について講演いただきました。

記念セミナー終了後は、自治体や関係機関および関係者をお招きしてオープニングセレモニーを開催、来賓を代表して竹口大山町長よりご挨拶をいただき、出席者によるくす玉開披でオープニングセレモニーを飾りました。



○「大山の自然と治山」パネル展

8 月 7 日（月）から 12 日（金）の期間、モンベル



大山店の 2 階において、「大山の自然と治山」をテーマとしたパネル展を実施しました。

過去に大山で

発生した災害の写真や、過去の治山工事の様子、治山工事が完成し経年により緑が回復していく様子などをパネル展示したところ、期間中に「山の日」もあったことから、登山客や観光客の方々約 300 名にご覧いただくことが出来ました。会場アンケートでは、治山事業について「初めて知った」、大山の治山事業については「国土保全のため」「自然を護るため」重要といった回答が複数寄せられ、治山事業について「期待している」「もっと PR すべき」などのご意見をいただきました。



＜「六甲山の災害展」でパネル展示を行いました＞

また、今年は六甲山系の豪雨災害発生から 50 年を迎えることから、8 月 15 日（火）～ 27 日（日）まで、神戸市にあります「人と防災未来センター」において、「六甲山の災害展」が行われ、兵庫森林管理署では「はげ山からの復旧」や「阪神・淡路大震災からの復旧」についてパネルを出展し、市民の皆さんにご覧いただきました。



お知らせ

『森の感謝祭』

ー森林インストラクターと一緒に森とあそび・森に親しもうー

* 開催場所・日時

箕面国有林 勝尾寺園地

11月5日(日) 10:00～15:00(雨天中止)

* 参加費

大人 1,000 円 こども 500 円 (小学生以下)
(材料費・保険料 ほか)

* ・定員・締切

30 名・定員になり次第または 11 月 2 日(木)

* プログラム

- ・自然素材クラフト(ドリームキャッチャーづくり)
- ・森を楽しむ野外ゲーム
- ・丸太切り体験&円板パズルづくり&ロープワーク
- ・森の観察会
- ・木の名札の取り付け(名札にサインも!)

* 持ち物など

お弁当、飲み物、雨具(現地に自販機等ございません)
無料送迎バスもご利用できます。
(先着 15 名・事前申込)
小学生以下のお子様は、保護者同伴をお願いします。
山道を歩きますので、動きやすい服装・靴でご参加ください。

* 応募先

大阪森林インストラクター会(担当:しんち、かねこ)
FAX06-6584-9021
メール:sanka@forest-osaka.org

詳細は、http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/information/attach/pdf/H29-hureaisuisinnzigyoevent-6.pdf をご確認ください。

水都おおさか
森林の市 2017

もり
【森林を探しに 水都をめぐる げん木!もり森!森林の市】
をテーマに開催します!

* 日時 10月22日(日曜日)(雨天決行・荒天中止)
今年は第4日曜日に日程変更しておりますので、
お気をつけ下さい!

* 詳細 <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/morinoichi/index.html>

* 問い合わせ先

水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会事務局
近畿中国森林管理局 技術普及課内
TEL:06-6881-3484 FAX:06-6881-2055
皆様のご来場、お待ちしております!!

もり
森林のギャラリー(局庁舎1階)

9/4～9/27 農業・農村のいろいろな働き

【近畿農政局 消費・安全部 消費生活課】

9/21～9/27 楽美会・作品発表【楽美会(らくびかい)】

9/28～10/2 第53回 竹扇会書展【竹扇会(1)】

10/3～10/13 四季のイッピン

【日本日曜大クラブ 大阪支部】

10/10～10/13 いちよう大学同窓会文化祭

【いちよう大学同窓会】

花草木

今月の花草木は「フヨウ(芙蓉)」です。

フヨウは、アオイ科フヨウ属の落葉低木です。

フヨウは、日本の九州・四国・沖縄、中国、
台湾に自生し、関東地方以南で鑑賞用に栽培さ
れています。

開花時期は8～10月初旬で、ピンク色の大型
の花を咲かせます。

昔から、「美しい人のたとえ」に用いられている
花で、美しくしとやかな顔立ちのことを芙蓉の顔
といいます。

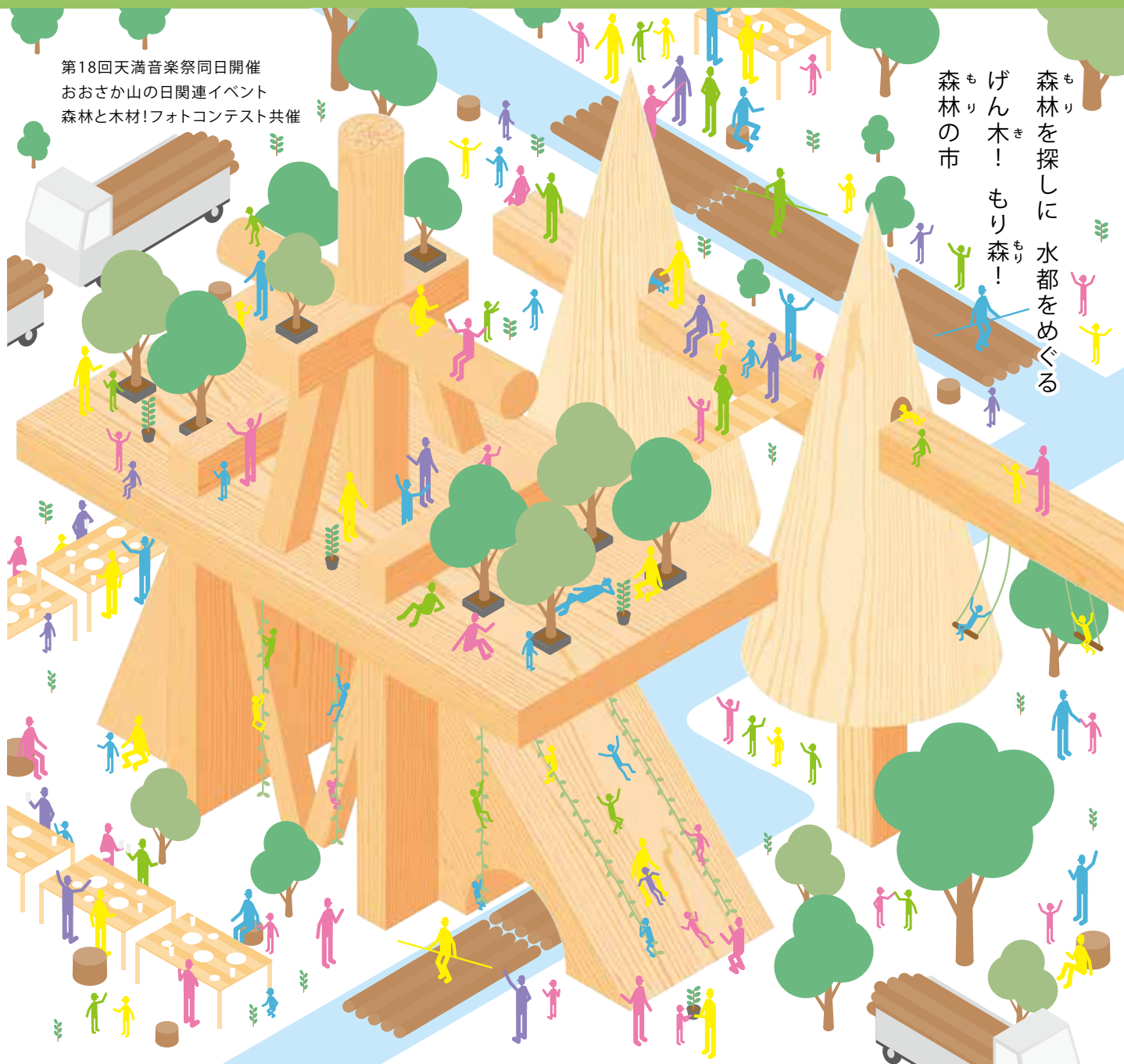
フヨウの変種に、スイフヨウ(酔芙蓉)があります。
フヨウとほとんど同じ形の花ですが、朝に開花
したときは白花で、夕方になるにつれてだんだん
赤くなるという、とてもおもしろい花です。

ピンク色の「芙蓉」を夕方に見ただけだと、ふ
つうの「芙蓉」と「酔芙蓉」は見分けがつきにく
いかもしれませんが、朝、白かった花が夕方ピン
ク色になっていれば、それは「酔芙蓉」かもしれ
ません。

フヨウの花言葉は、「繊細な美」「しとやかな
恋人」です。

第18回天満音楽祭同日開催
おおさか山の日関連イベント
森林と木材!フォトコンテスト共催

もり
森を
探しに
水都を
めぐる
もり
森!
もり
森!
もり
森!
もり
森!



水都おおさか

森林の市

2017

入場
無料

平成 29年 10月22日(日) 10時~16時 雨天決行 (荒天中止)

会場:近畿中国森林管理局・毛馬桜之宮公園

JR環状線「桜ノ宮駅」
西出口から徒歩5分

会場内に駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください



「2017準ミス日本」来場
林野庁「みどりの広報大使」



林業おもちゃも! 当たって学べる
森林のガチャガチャ抽選会



鹿汁や猪肉無料ふるまいも!
森林のごちそうフードコーナー



「森のようちえん」体験ブースも!
キッズコーナーがパワーアップ!

主催:水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会 協賛:株式会社Kukkia/ブリオジャパン株式会社/株式会社トーセン/丸橋企画株式会社/FOREST MEDIA WORKS株式会社/株式会社ニシムラ精密地形模型/株式会社ロゴスコーポレーション/一般社団法人全国燃料協会/有限会社ヨガワークス/六甲山観光株式会社/出雲カーボン株式会社/林製紙株式会社/アルブル木工教室/NPO法人木育フォーラム/RECHERCHE(リサーチ)/株式会社信成社/能勢酒造株式会社/株式会社カーボーイ/株式会社ビクセン 後援:国土交通省近畿地方整備局/近畿地方環境事務所/近畿農政局/三重県/滋賀県/京都府/奈良県/和歌山県/大阪府/大阪府教育委員会/滋賀県森林組合連合会/京都府森林組合連合会/奈良県森林組合連合会/兵庫県森林組合連合会/和歌山県森林組合連合会/滋賀県木材協同組合連合会/奈良県木材協同組合連合会/兵庫県木材協同組合連合会/内閣府公益社団法人大阪府振興会/公益社団法人国土緑化推進機構/公益財団法人関西・大阪21世紀協会/公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会/帝国ホテル 大阪/産経新聞大阪本社/美しい森林づくり全国推進会議/森林環境の保全・整備連絡調整会議

シリーズ『国有林 最前線！』

森林整備部 森林技術・支援センター

平成29年度の業務運営に当たっては、近畿中国森林管理局事業方針及び技術開発基本目標等に基づき、公益重視の管理経営の一層の推進及び森林・林業再生への貢献を旨としつつ、計画的・効率的な技術開発に努めています。

特に、多様な森林と森林資源を有効に利用するために、まとまりのあるフィールドと技術力等を活かし、森林資源の循環利用の確立に向けたトータルコストの縮減、獣害対策等の森林・林業の課題解決に向けた技術開発等に取り組んでいます。また、当センターでは技術開発等で得られた成果については、民有林関係者等を対象とした現地検討会の開催、地域の要請を踏まえた民有林支援、職員や民有林技術者の育成に向けた研修等を行っています。



民有林関係者との現地検討会



水晶山列状間伐試験地



育成複層林造成試験地

兵庫森林管理署 浜坂森林事務所 首席森林官 小島幸彦

浜坂森林事務所が所管する但馬地域は兵庫県北部に位置し、北は日本海、南は播磨・丹波地域、東は京都府、西は鳥取県に隣接し、東西・南北方向それぞれ約60kmにわたり、面積は約2,100km²と兵庫県全体の約1/4を占める広大な地域です。当事務所はこの地域の北西部の新温泉町内にあります。事務所の近くを岸田川が流れています。この川の源流部は20数km南方にあり、氷ノ山（標高1,510m）や扇ノ山（標高1,310m）など、兵庫の屋根と呼ばれる東中国山地の主峰があります。扇ノ山火山から噴出した溶岩によって形成された標高1,000m前後の台地が山頂の東方にあり、畑ヶ平高原と呼ばれています。この高原の周辺に広がるのが畑ヶ平国有林です。

畑ヶ平国有林は東中国山地緑の回廊の北端部にあたり、929haのうち545haが緑の回廊の指定地域で、北方の上山高原エコミュージアム（民有林）と隣接しています。ブナ、ミズナラ、トチ、天然スギなどからなる天然生林が豊富な地域ですが、人工林率も高く、面積割合で44%はスギ造林地です。優良なスギ木材を生産できる地域であるため、製品生産事業も行われていますが、人工林については、水源かんよう機能を損なわない範囲で小面積皆伐や列状間伐を行い、侵入してきたブナなどの広葉樹を保全し、徐々に高木性広葉樹と混交した多様な森林へ誘導することも重要になっています。木材の生産と同時に生態系の多様性・野生動物の保全も実践すべき地域だと思えます。

畑ヶ平国有林には2箇所介在地（農地）があり、そこでは、昭和40年代から標高が高く、真夏でも最高気温が27℃ぐらいまでしか上昇しない冷涼な気候を利用して高原大根が栽培されています。畑ヶ平農業生産組合によって約20haの畑に6月から種まきが行われ、8月から10月にかけて収穫された「畑ヶ平大根」が京阪神へ出荷されます。



写真は耕耘中の様子。奥に見える山が左から扇ノ山、大ヅッコ、小ヅッコです。